

「二条城展」で二の丸御殿のバーチャルリアリティ映像を公開 ～重要文化財「松鷹図」などの狩野一門による障壁画を VR 映像で再現～

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下凸版印刷)は、バーチャルリアリティ(以下 VR※)技術を活用して 2002 年に制作した VR 作品「京都 元離宮二条城」に、新たなシーンを加えて編集した VR 映像作品を製作しました。同作品は、江戸東京博物館で開催される『二条城展』(主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、京都市、読売新聞社、博報堂DYメディアパートナーズ)にて、2012 年 7 月 28 日(土)から 9 月 23 日(日)まで公開されます。

本作品は、同展において展示される障壁画が実際にあった場所を見ることができるもので、元離宮二条城(以下二条城)の二の丸御殿内部の様子を再現しています。同展で展示されている重要文化財「竹林群虎図」や「松鷹図」などの障壁画を、二の丸御殿の遠侍、式台(しきだい)、大広間、黒書院(くろしょいん)、白書院(しろしょいん)の本来あった場所にはめ込み、当時の絢爛豪華な二条城二の丸御殿を障壁画とともに高精細かつ精緻に再現しています。

<江戸東京博物館 開館 20 周年記念「二条城展」について>

本展覧会は、二条城が所蔵する 3000 面を超える障壁画から選りすぐった、“日本絵画史上最大の画派”と呼ばれる狩野派による二の丸御殿障壁画を核とし、徳川家に関連した多数の美術作品や歴史資料など、約 100 件を紹介。将軍に謁見に訪れた大名などを待たせる遠侍の間にはじまり、式台、大広間、黒書院、白書院の諸御殿が連なる二条城の二の丸御殿。その内部を煌びやかに彩る金碧障壁画の数々を一堂に紹介します。なお、二条城の障壁画がこれだけまとまって京都以外で公開されるのは初めてとなります。

会期:2012 年 7 月 28 日(土)～9 月 23 日(日)

会場:江戸東京博物館 1 階展示室

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、京都市、読売新聞社、
博報堂 DY メディアパートナーズ



監修・データ提供:元離宮二条城事務所
製作・著作:凸版印刷株式会社

【報道に関するお問合せ・掲載用写真について】

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部パブリシティ企画チーム

E-mail bunkajigyo@toppan.co.jp TEL 03-5840-4899 FAX 03-5840-1910